

令和7年度第2回名護市地域公共交通協議会 議事録

日時:令和7年8月2日(月)10時00分より

場所:名護市民会館中ホール及び Web 会議

【報告】

(1) 令和7年度第1回名護市地域公共交通協議会議事録について

全員異議なし。

(2) 名護市地域公共交通計画の指標達成状況・進捗について

全員異議なし。

(3) 名護市コミュニティバス(なご丸)利用状況について

全員異議なし。

<質疑応答>

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(3)-1	二見以北線について、イオンを経由しなくなったため利用者が減少したというのは、自家用車で移動するようになったということか。(琉球バス交通 小川委員)	自家用車で移動するようになったかまでは分からないが、一般・高齢者の利用が減っている。資料 3 別紙の P36 に属性別分析結果を参照いただきたい。また、2 便目・3 便目はイオンを経由しており、二見以北地域からイオンに行くことができなくなったということではないということを補足する(事務局)	—

(4) 交通政策の推進について :名護市内の交通空白状況調査結果

全員異議なし。

【議題】

(1) コミュニティバス利用者アンケートについて

全員異議なしで承認。

(2) 地域住民ヒアリングについて

下記、質疑応答を経て承認

< 質疑応答 >

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(2)-1	各区でミニデイサービスを月に 2～3 回実施しているので、その際にヒアリングをしていただけると効率もよいかと考える。また送迎等もされているとは思いますが移動に課題がある障がい者用の施設もあると聞いているので、そういった施設も対象にしていきたい。(名護市社会福祉協議会 野原委員)	貴重な情報の共有にお礼申し上げます。具体的な施設等について詳細を確認させていただき、その内容を踏まえて検討をすすめる。(事務局)	共有いただいた情報の詳細を確認し、その内容を踏まえて検討を進める。
(2)-2	資料 6 の p5 に「緑風学園スクールバス運行ルート及び停車位置図」の記載があるが、スクールバスに関する情報は誰でも乗れると誤解をまねかないように慎重に取り扱いをお願いする(北部観光バス 宮城委員)	緑風学園については、コミュニティバスとスクールバスでルートの重複区間も多いため参考として記載したものである。調査の際には誰でも乗れると誤解をまねかないように慎重に取り扱う。(事務局)	調査の際には、現在運行しているスクールバスが誰でも乗れると誤解をまねかないように留意して実施する。
(2)-3	スクールバスについて、もし利用が少ない状況であれば活用の可能性もあるかもしれないが、利用状況はどういった状況か。(琉球大学 神谷委員)	二見ルートでは 60 名程度、天仁屋ルートは 20 名程度の利用がある状況である。活用の余地はあるかもしれないが、貸切バスとして運行しているので、運賃を収受するのは現時点では難しい。(北部観光バス 宮城委員) 昨年、国土交通省と文部科学省で「児童生徒等及び地	—

		域住民の移動手段の確保に向けたスクールバスと地域交通の効果的な活用について」というスクールバスの活用についての進め方も記載した通知もだしており、こういった内容も参考にしながら連携を図っていただければと考える。(沖総局運輸部企画室 亀谷委員)	
--	--	--	--

(3) AI オンデマンド交通実証実験乗降個所の追加について

当該の議題については、「ジャパンエンターテイメント・沖縄セルラー電話」より内容を説明。

下記、質疑応答を経て承認。

< 質疑応答 >

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
(3)-1	参考資料 P6 のアプリ登録者数は 401 名が正しい数値である(沖縄セルラー)	—	—
(3)-2	乗降個所の追加について、個所数の制限はあるのか。また、今後も乗降個所の追加には審議が必要なのか。(名護市観光協会 前田委員)	乗降個所の数に制限はない。乗降個所の追加の要望は沖縄セルラーに連絡をいただければ、法律上問題ないかも含めて確認しながら追加を検討する。なお、追加のための設定には1ヵ月程度の期間がかかる。(沖縄セルラー) 乗降個所を追加する際には、今後も協議会にて審議することになる。(事務局)	乗降個所の追加の要望は沖縄セルラーにて対応し、その際には法律上問題ないかも含めて検討をする。乗降個所を追加する際には、今後も協議会にて審議したうえで実施する。
(3)-3	この AI オンデマンド交通についても、利便性が知られてくるとコミュニティバスのように利用は増えてくると思う。そのため、知ってもらうことと体験してもらうこ	広報については 9 月頃に YouTube や SNS を活用して実施する予定である。(沖縄セルラー)	—

	とが重要と考える。(名護市観光協会 前田委員)		
(3)-4	資料4に示しているような空白状況を踏まえて乗降個所も検討するとよいと考える。(名護市観光協会 前田委員)	—	—
(3)-5	従来から運行している路線バスも含めた利用促進もよろしく願います。(琉球バス交通 小川委員)	会社ごとに時刻表や運行ルート調べなければいけないのが利用者目線の課題だと思う。 (名護市観光協会 前田委員) 共通時刻表ができないかを事業者と議論しており、できた際には周知していきたい。(沖縄県企画部交通政策課 平良委員)	—

＜その他の意見＞

番号	委員	事務局・委員回答	対応方針
他-1	高校生にアンケート・ヒアリング調査をしていくことになるが、こういった協議会の場に来てもらうという形があってもよいかと思った。高校生の意見を聞くことをしてもよいし、こういった議論をしているということ自体を知ってもらうこともよいと考える(琉球大学 神谷委員)	高校生の協議会への参加について、例えば学校の取り組みの中で興味のある生徒が参加できるような形なども検討できればと思う。(事務局)	高校生の協議会への参加を検討する。

＜次回の会議等について事務局から連絡＞

- ・ 次回開催日の日程調整について、送付させていただき日程調整表に回答いただきたい。開催日は決定し次第周知する。(事務局)